

令和 4 年 4 月 1 日付け 組合事務局組織機構等の検討状況について

1 改正 (案)

- 事務局内の課及び担当の改編はなし。
- 施設管理課 環境企画室を 1 名減とする。(定年退職者の不補充)

【理由】

- ・ うなばら荘及び白浜浄化場の民間譲渡に係る事務について、一定程度の目途が立ったため。
- ・ 濃縮水処理施設に係る設置方針の確定、業務協議に一定程度の目途が立ったため。

2 事務局職員数 (定数内職員)

年 度	正規職員	再任用職員	合計
令和 4 年度	3 2 名	1 名	3 3 名
令和 3 年度	3 3 名	1 名	3 4 名

※ 正規職員は、米子市からの派遣職員 5 名を含む。

3 配置人員数

事務局長

所 属	令和 4 年度	令和 3 年度
総務課 課長	人事給与担当 (3 名)	人事給与担当 (3 名)
	企画厚生担当 (3 名)	企画厚生担当 (3 名)
	入札財政担当 (3 名)	入札財政担当 (3 名)
	認定審査担当 (2 名)	認定審査担当 (2 名)
施設管理課 課長	環境企画室 (3 名)	環境企画室 (4 名)
	建築工事担当 (2 名)	建築工事担当 (2 名)
	ごみ処理施設維持担当 (6 名)	ごみ処理施設維持担当 (6 名)
	浄化場維持担当 (2 名)	浄化場維持担当 (2 名)
ごみ処理施設整備課 課長	(3 名)	(3 名)
会計室 会計管理者兼室長	会計担当 (1 名)	会計担当 (1 名)



資料 2

令和 4 年 1 月 2 8 日  
総務消防常任委員会  
消防局 総務課

## 消防力の整備指針に基づく充足率について

本件については、令和 3 年 1 月 2 5 日開催の組合議会総務消防常任委員会において、第 8 次消防力等整備 5 カ年計画の説明時に、消防力の整備指針に基づく本組合の充足率の現況と、その分析について求められたことから、改めて報告するもの。

### 消防力の整備指針（趣旨）

- 第 1 条 この指針は、市町村が火災の予防、警戒及び鎮圧、救急業務、人命の救助、災害応急対策その他の消防に関する事務を確実に遂行し、当該市町村の区域における消防の責任を十分に果たすために必要な施設及び人員について定めるものとする。
- 2 市町村は、この指針に定める施設及び人員を目標として、必要な施設及び人員を整備するものとする。

### 1 算定数の考え方

#### (1) 消防車両数

市街地及び準市街地等の人口、中高層建物及び危険物施設等の数等を基準とし、当該市町村が地域特性を勘案し算出した数

#### (2) 消防職員数

次の項目を合算した数

- ア 整備指針に基づき算出した消防車両数に対する災害活動要員
- イ 管轄人口に応じた通信（指令）要員
- ウ 一般住居、防火対象物、危険物取扱所等の数に応じた予防事務要員
- エ 各消防本部で必要とする総務事務要員

### 2 充足率の考え方

国が示した消防力の整備指針を基に、当該市町村が算出した算定数（目標数）に対して現有の消防車両数及び消防職員数の割合

### 3 当局の現況（令和元年度消防施設整備計画実態調査）

消防車両	充足率 (%)	消防職員	算定数 (人)	現員数 (人)	充足率 (%)
消防ポンプ車	100	災害活動隊員	415	233	56.1
はしご車	100	通信員(指令員)	18	18	100
化学車	100	予防事務要員	56	28	50
救急車	100	総務事務要員	45	45	100
救助工作車	100	合計	522	312	59.8

※ 消防職員には、短時間再任用職員を含む。

#### 4 主な中国地区消防本部の状況

(令和元年4月1日現在)

※ 令和元年版消防現勢及び令和元年度消防施設整備計画実態調査結果の数値を引用した。

県名	消防本部名	面積 (km <sup>2</sup> )	人口 (人)	職員数 (人)	署所数 (箇所)	住民1,000人あたりの 消防職員数(人)	充足率(%)	
							車両	消防職員
鳥取県	鳥取西部消防局	1,208	230,662	312	10	1.35	100	59.8
	鳥取東部消防局	1,518	226,864	310	12	1.37	90.0	66.0
	鳥取中部消防局	781	102,750	149	4	1.45	90.0	62.1
島根県	松江市消防本部	573	201,887	252	8	1.25	96.9	75.7
	出雲市消防本部	624	175,593	217	7	1.24	100	76.7
広島県	広島市消防局	1,457	1,268,332	1,335	39	1.05	98.9	94.8
	福山地区消防局	1,096	516,806	558	15	1.08	96.0	90.8
	呉市消防局	353	223,685	352	14	1.57	100	87.8
	東広島市消防局	797	220,027	295	9	1.34	100	72.5
	尾道市消防局	285	136,851	206	7	1.51	100	82.7
岡山県	岡山市消防局	1,059	718,693	776	19	1.08	88.8	77.1
	倉敷市消防局	384	506,187	461	15	0.91	93.3	75.3
	津山圏域消防本部	1,360	149,738	220	9	1.47	100	67.5
山口県	山口市消防本部	1,023	191,129	250	7	1.31	97.8	80.4
	下関市消防局	716	262,255	327	11	1.25	93.2	76.9
	周南市消防本部	586	127,762	210	6	1.64	100	71.7
	岩国地区消防本部	884	140,644	230	6	1.64	100	81.8
	宇部・山陽小野田消防局	420	227,735	299	8	1.31	100	68.0
抽出消防本部(平均):18本部				375.5	11.4	1.32	96.9	76.0

全国消防本部(総数)	370,664	127,126,373	162,844	4,816				
全国消防本部(平均):726本部			224	6.6	1.28	93.1	78.3	
政令市消防本部(平均):20本部			1,447	37.6	1.05	98.2	90.5	

#### 【考察】

- ① 住民1,000人あたりの消防職員数は、抽出した消防本部の平均は1.32人、全国消防本部の平均は1.28人、政令市消防本部の平均は1.05人である。
- ② 車両の充足率は、全国の消防本部で概ね充足している状況である。
- ③ 消防職員の充足率の平均は、抽出した消防本部が76%、全国消防本部が78.3%、政令市消防本部が90.5%である。また、消防職員100人以下の小規模消防本部では50~60%台と低い充足率である。

資料3

令和4年1月28日  
総務消防常任委員会  
消防局総務課

# 火災救急統計について

令和4年1月

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

# 火災概況

## 1 市町村別火災状況(P2)

(令和3年12月中の火災については調査中のものもあり速報値を記載)

令和3年中の火災件数は87件で、前年と比較し10件増加しました。そのうち、建物火災は44件で前年と比較し15件増加、林野火災は4件で3件増加、車両火災は4件で1件増加、その他火災は35件で9件減少しました。

市町村別に前年と比較し、米子市6件減、境港市8件増、大山町7件増、南部町2件増、伯耆町8件増、日南町2件減、江府町4件減となり、日吉津村、日野町の火災発生はありませんでした。

火災による死者は5名、負傷者は15名でした。

損害額は1億6,599万7千円で、前年と比較し6,033万9千円増加しました。損害額の増加は建物火災が15件増加したことが主な要因と考えられます。

## 2 出火原因(P2)

出火原因は、「不明・調査中」が最も多く31件、次いで「たき火」が25件、「ストーブ」が4件、「たばこ」、「こんろ」が3件となっています。

前年と比較し「不明・調査中」が増加、「電気装置」、「電灯配線」及び「放火」による出火原因が減少しました。「その他」の主なものは、衝撃による火花、線香、落雷によるものなどです。

## 3 過去10年間の市町村別火災状況(P3)

過去10年の火災件数をみると、平均して110件前後で推移しており、前年の77件に次いで少ない件数となりました。

## 4 総評

火災総件数87件のうち、建物火災が増加し、死傷者数、損害額も増加しました。火災による死者は5名発生し、うち4名が65歳以上の高齢者です。

今後も、火災を早期発見し、住宅火災による死傷者をなくすため、住宅用火災警報器の設置、維持管理の促進及び高齢者に対する住宅防火対策の実施を図っていきます。

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

市町村別火災状況(速報値) (令和3年1月1日～令和3年12月31日)

市町村名	火災件数				焼損面積				焼損棟数				死傷者			損害額 (千円)			
	合計	建物	林野	草	船	その他	床面積 ㎡	表面積 ㎡	林野 a	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	り災世帯数		り災人員	死者	負傷者
米子市	40 (-6)	23 (+4)	1 (+1)	2 (-2)	0 (0)	16 (-9)	1882 (+912)	183 (+85)	26 (+26)	46 (+21)	13 (+7)	3 (+2)	14 (+6)	16 (+6)	26 (+14)	64 (+45)	2 (+2)	6 (+2)	51484 (-48754)
境港市	15 (+8)	6 (+1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (+7)	2608 (+2605)	0	0 (0)	6 (0)	2 (+1)	2 (+2)	1 (-1)	1 (-2)	3 (-2)	9 (-1)	0 (0)	4 (+2)	81926 (+78413)
日吉津村	(-2)	(-1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(-1)	(-5)	0	0 (0)	(-3)	(-1)	(-1)	(-1)	0 (0)	(-1)	(-3)	0 (0)	0 (0)	(-727)
大山町	11 (+7)	5 (+4)	0 (0)	2 (+1)	0 (0)	4 (+2)	410 (+410)	7 (+7)	0 (0)	7 (+6)	2 (+2)	0 (0)	4 (+4)	1 (0)	5 (+5)	18 (+18)	0 (0)	2 (+2)	8682 (+8676)
南部町	6 (+2)	2 (+1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (+1)	11 (+11)	0	2 (+2)	3 (+2)	1 (+1)	(-1)	1 (+1)	1 (+1)	2 (+2)	7 (+7)	0 (0)	1 (+1)	3583 (+3135)
伯耆町	12 (+8)	6 (+6)	1 (+1)	2 (+2)	0 (0)	3 (-1)	49 (-11)	0	10 (+10)	12 (+12)	6 (+6)	1 (+1)	3 (+3)	2 (+2)	4 (+4)	12 (+12)	1 (+1)	0 (0)	8137 (+8113)
日南町	1 (-2)	(-1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(-2)	0	0	105 (+105)	(-1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(-1)	0 (0)	0 (0)	(-1)	1 (+1)	2750 (+2050)
日野町	(-1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(-1)	0	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0
江府町	2 (-4)	2 (+1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(-5)	11 (+11)	0	0 (0)	7 (+6)	1 (+1)	1 (+1)	3 (+3)	2 (+1)	2 (+2)	4 (+4)	2 (+2)	1 (+1)	9435 (+9433)
合計	87 (+10)	44 (+15)	4 (+3)	4 (+1)	0 (0)	35 (-9)	2869 (+2702)	143 (+143)	105 (+105)	81 (+43)	25 (+17)	7 (+4)	26 (+15)	23 (+7)	42 (+24)	114 (+82)	5 (+4)	15 (+9)	165997 (+60339)

( )前年比増減数

前年合計

合計	77	29	1	3		44	1,192	167		38	8	3	11	16	18	32	1	6	105,658
----	----	----	---	---	--	----	-------	-----	--	----	---	---	----	----	----	----	---	---	---------

出火原因

出火原因	令和3年	令和2年	合計	たばこ	こんろ	かまど	風品どかま	炉	焼却炉	ストーブ	こたつ	ボイラー	煙突	排気管	電気機器	電気装置	電灯配線	内燃機関	配線器具	火あそび	マッチ等	たき火	溶接機器	灯火	衝突火花	取灰	火入れ	放火	放火疑	その他	不 査 明 中 調
合計	87	77	164	3	2	1	1		2	4			1	1	1	3	1	2	1	1		25	1	1		1			12	31	
令和3年	87		87	3	2	1	1		2	4			1	1	1	3	1	2	1	1		25	1	1		1			12	31	
令和2年	77		77	2	2	1	1		2	2							3					28				1	2	12	12	12	

過去10年間の市町村別火災状況

	令和3年					令和2年					令和元年					平成30年					平成29年					平成28年 合計	平成27年 合計	平成26年 合計	平成25年 合計	平成24年 合計		
	合計	建物 件	林野 件	車両 件	船舶 件	その他 件	合計	建物 件	林野 件	車両 件	船舶 件	その他 件	合計	建物 件	林野 件	車両 件	船舶 件	その他 件	合計	建物 件	林野 件	車両 件	船舶 件	その他 件								
																									合計						建物 件	林野 件
米子市	40	23	1			16	46	19	2		25	50	20	5		25	64	32	2			30	49	20	3		26	62	44	49	55	66
境港市	15	6				9	7	5			2	17	11			4	13	7				6	15	5	1	1	8	13	14	19	23	13
日吉津村							2	1			1	2	1			1	2	2					2	1			1	1	1	5		2
大山町	11	5		2		4	4	1	1		2	19	9	1	2	7	14	4				10	8	5			3	16	10	23	20	16
南部町	6	2	1			3	4	1	1		2	5		1		4	9	3	3			3	4	2	1	1	1	7	5	10	15	5
伯耆町	12	6	1	2		3	4				4	7	5	1		1	7	4				3	4		2	2	10	4	7	12	6	
日南町	1		1				3	1			2	3	2	1			4	4					2	1	1		4	5	4	6	2	
日野町							1				1	4	2	1		1	4	1				3	2	1	1		2	8	4	3	4	
江府町	2						6	1			5	5	2	1		2	2					2	3	1	1	1	3	3	3	4	1	
合計	87	44	4	4	3	44	112	52	11	2	45	119	57	3	2	57	119	57	3	2		57	89	36	1	9	1	118	94	124	138	115



# 救急概況

## 1 市町村別救急活動状況(P6)

令和3年の救急出場件数は、11,124件で前年と比較し580件の増加となりました。搬送人員は487人増加し10,382人となりました。

市町村別の出場件数は、米子市が259件増、境港市が134件増、日吉津村は増減なし、大山町20件増、南部町62件増、伯耆町81件増、日南町8件増、日野町11件減、江府町27件増、圏域外は増減なしとなりました。

事故種別では、急病が7,150件(前年比471件増)、一般負傷が1,660件(前年比72件増)、転院搬送が1,282件(前年比95件増)、交通事故が590件(前年比25件減)の順となりました。

急病の増加要因は、受診控えが減少し、高齢者(65歳以上)の救急搬送が増加したものでした。

一般負傷の微増も高齢者の転倒による救急搬送の増加でした。

転院搬送の増加は、2次医療機関から3次医療機関への高度治療を必要とする転院搬送、3次医療機関から2次医療機関へは新型コロナウイルス病床確保及び専門的手術のための転院搬送が増加したものでした。

## 2 令和3年(比較令和2年)月別出場(P7)

- ・ 令和3年の月別ごとを見てみますと、1月は新型コロナウイルス感染者の増加により人流の低下及び医療機関受診控えにより救急件数が減少したものと考察します。
- ・ 2月から5月に於いては、ワクチン接種対策及び経済効果により人流が徐々に増加したことが救急件数の増加に繋がったものと考察します。
- ・ 6月、7月は気温の上昇により熱中症が増加、8月、9月は長雨の影響により熱中症が減少したことが救急件数の減少と考察します。
- ・ 10月から12月は全国的な新型コロナウイルス感染症の減少により、経済活動が回復し人流が増加したことが増加要因と考察します。

また、例年12月はインフルエンザ流行により救急件数が大幅に増加しますが、インフルエンザが流行しなかったことが微増の要因と考察します。

## 3 熱中症年別月別搬送人員(P8)

令和3年の熱中症搬送人員は、前年より33人減少の144人で、過去5年間では最も少ない搬送数となりました。月別では長雨の続いた8月は47人と少なく、全国的にも熱中症件数は減少傾向となりました。

重症例5件中、4件は80歳以上の高齢者でいずれも自宅での発症で、エアコンの未使用が要因でした。

## 4 西部消防局新型コロナウイルス感染症対応症例(P9)

西部消防局では、米子保健所長の依頼により、新型コロナウイルス感染症患者の搬送を令和2年9月から令和3年9月までに48件行いました。

24件は、2次医療機関及び自宅での急激な症状悪化により救急搬送として取り扱い、24件は保健所の移送能力の限界により、移送協力を行ったものです。

## 5 過去5年間の市町村別救急活動状況(P10)

救急出動件数は、猛暑要因とした平成30年をピークに減少に転じ、更に令和2年は新型コロナウイルスの影響により大幅に減少しました。

令和3年は新型コロナウイルス対策により一昨年並みに増加となりました。

今後の予測として、特段の気候変動及び新型コロナウイルスのような爆発的感染症がない限り、管内人口の減少、高齢者の増加により救急件数は11,000件から12,000件で推移するものと考察します。

## 6 総評

令和3年の救急件数の増加要因は、新型コロナウイルス対策が進み徐々に経済が復興しつつ人流が増したため増加したものと考察します。

新たな変異ウイルスオミクロン株の感染拡大が懸念される中、当局全体の感染対策には万全を期し、災害対応体制を堅持してまいります。

市町村別救急活動状況

(令和3年1月1日～令和3年12月31日)

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

市町村名	総数		火災		自然災害		水難		交通		労働災害		運動競技		一般負傷		加害		自損行為		急病		転院搬送		その他		
	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数
米子市	7,008 (+259)	6,529 (+237)	42 (+1)	5 (+2)	0 (-1)	375 (-33)	371 (-20)	3 (-4)	3 (+3)	60 (-16)	58 (-20)	33 (+3)	33 (+3)	938 (+5)	19 (-7)	15 (-7)	59 (-12)	42 (-1)	4,580 (+243)	4,261 (+207)	799 (+77)	799 (+77)	63 (-6)	799 (+80)	63 (-6)	0 (±0)	
境港市	1,476 (+134)	1,391 (+107)	9 (+5)	4 (+2)	1 (-1)	80 (-8)	76 (-9)	3 (+2)	1 (+1)	22 (+1)	21 (±0)	5 (-8)	5 (-8)	235 (+38)	2 (-2)	2 (±0)	13 (-2)	10 (-1)	953 (+112)	891 (+89)	144 (-6)	144 (-6)	4 (+3)	145 (-4)	4 (±0)	0 (±0)	
日吉津村	152 (±0)	147 (+4)	0 (-3)	0 (±0)	0 (±0)	18 (+3)	20 (+5)	1 (+1)	1 (+1)	2 (-1)	2 (-1)	0 (-1)	0 (-1)	26 (+4)	0 (±0)	0 (±0)	1 (+1)	1 (+1)	100 (-1)	93 (-3)	4 (-3)	4 (±0)	0 (±0)	4 (-3)	0 (±0)	0 (±0)	
大山町	822 (+20)	764 (+15)	6 (+1)	1 (+1)	1 (+1)	40 (-2)	35 (-5)	1 (+1)	1 (+1)	8 (-3)	7 (-4)	6 (-2)	6 (-3)	155 (+21)	0 (-2)	0 (-2)	7 (-2)	6 (+2)	524 (+1)	492 (+3)	60 (-1)	60 (-1)	3 (+1)	60 (±0)	3 (+1)	0 (±0)	
南部町	450 (+62)	414 (+46)	3 (+1)	1 (+1)	0 (±0)	23 (+8)	23 (+8)	1 (+1)	0 (±0)	4 (-1)	4 (-1)	1 (-1)	1 (-1)	56 (-10)	2 (+2)	2 (+2)	5 (-2)	4 (+1)	286 (+46)	256 (+27)	67 (+18)	67 (+18)	0 (-1)	67 (+19)	0 (±0)	0 (±0)	
伯耆町	500 (+81)	463 (+62)	7 (+6)	1 (+1)	0 (±0)	26 (-5)	22 (-8)	1 (+1)	0 (±0)	10 (±0)	10 (+1)	4 (+2)	4 (+2)	78 (-8)	0 (-1)	0 (-1)	6 (+5)	3 (+2)	306 (+75)	290 (+70)	55 (+3)	55 (+3)	4 (+3)	55 (+3)	4 (+3)	0 (±0)	
日南町	325 (+8)	307 (+2)	0 (-1)	0 (±0)	0 (±0)	15 (±0)	13 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	4 (+2)	4 (+2)	0 (±0)	0 (±0)	46 (+1)	0 (±0)	0 (±0)	1 (±0)	1 (+1)	187 (-10)	174 (-19)	69 (+17)	69 (+17)	1 (-2)	69 (+17)	1 (-2)	0 (±0)	
日野町	160 (-11)	158 (-6)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	6 (±0)	6 (±0)	1 (+1)	1 (+1)	3 (+1)	2 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	26 (+4)	0 (±0)	0 (±0)	0 (-3)	0 (±0)	83 (-15)	82 (-13)	41 (+1)	41 (+1)	0 (±0)	41 (+1)	0 (±0)	0 (±0)	
江府町	218 (+27)	206 (+19)	2 (+2)	1 (+1)	0 (±0)	11 (+1)	9 (-2)	0 (±0)	0 (±0)	6 (+5)	6 (+5)	0 (±0)	0 (±0)	35 (+12)	0 (±0)	0 (±0)	1 (-1)	1 (-1)	130 (+19)	124 (+16)	31 (-12)	31 (-12)	1 (±0)	30 (-12)	1 (±0)	0 (±0)	
圏域外	13 (±0)	13 (+1)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (-2)	0 (-1)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	1 (+1)	1 (+1)	12 (+1)	12 (+1)	0 (±0)	12 (+1)	0 (±0)	0 (±0)	
合計	11,124 (+580)	10,392 (+487)	69 (+12)	13 (+8)	2 (-1)	590 (-25)	579 (-45)	7 (+3)	7 (+7)	119 (-12)	114 (-18)	49 (-7)	49 (-10)	1,660 (+72)	23 (-10)	19 (-8)	93 (-16)	68 (+4)	7,150 (+471)	6,664 (+378)	1,282 (+95)	1,282 (+95)	76 (-2)	1,282 (+102)	76 (-2)	0 (±0)	

( )は前年比増減数

前年合計

合計	10,544	9,905	57	5	3	615	624	8	0	131	132	56	59	1,588	33	27	109	64	6,679	6,286	1,187	1,180	78	0
----	--------	-------	----	---	---	-----	-----	---	---	-----	-----	----	----	-------	----	----	-----	----	-------	-------	-------	-------	----	---

### 令和3年(比較 令和2年)月別出動

#### 出動件数比較(件)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和2年	1049	805	870	763	705	823	828	992	882	956	885	986	10544
令和3年	1000	818	888	872	831	864	1003	943	863	1054	962	1026	11124
比較	-49	13	18	109	126	41	175	-49	-19	98	77	40	580

#### 搬送人員比較(人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和2年	981	766	810	729	658	770	785	938	821	892	844	911	9905
令和3年	927	755	834	813	784	797	933	881	807	995	906	960	10392
比較	-54	-11	24	84	126	27	148	-57	-14	103	62	49	487

熱中症年別月別搬送人員（統計期間：平成29年4月～令和3年10月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計	前年比較	重症例 以上
平成29年	3	14	9	84	52	5	2	169		重症4 死亡1
平成30年	4	13	12	137	60	7	1	234	65	重症5 死亡1
令和元年 (平成31年)	1	8	8	47	76	29	3	172	-62	重症3
令和2年	0	3	19	26	109	20	0	177	5	重症5
令和3年	0	5	15	65	47	6	6	144	-33	重症5

R3重症内訳

- 1 自宅居室内で意識消失。エアコンの使用無し。
- 2 自宅居室内で意識消失。部屋にエアコン、扇風機無し。
- 3 家の前で倒れていたのを発見された。
- 4 ここ数日食事がとれず、自宅居室でグッタリしていた。
- 5 ネギの選果中に倒れた。

- 91歳女性
- 97歳女性
- 88歳男性
- 84歳男性
- 60歳女性

## 西部消防局 新型コロナウイルス感染症対応症例（令和2月2月1日～）

鳥取県（米子保健所）から搬送依頼 48件（令和2年 1 2 件 令和3年 3 6 件）

※印は救急搬送対象とした事案

### <陽性患者の移送及び搬送>

（令和2年）

No.	発生日	隊員数	No.	発生日	隊員数
No. 1	2020/9/12	2	No. 1 1	2020/12/29	2
No. 2	2020/9/14	2	No. 1 2	2020/12/30	2
No. 3	2020/9/18	2			
No. 4	2020/10/25	2			
No. 5	2020/12/5	2			
No. 6	2020/12/8	2			
No. 7	2020/12/25	2			
No. 8	2020/12/26	2			
No. 9	2020/12/27	2			
No. 1 0 ※	2020/12/28	3			
計25名					

（令和3年）

No.	発生日	隊員数	No.	発生日	隊員数	No.	発生日	隊員数
No. 1 ※	2021/1/2	3	No. 1 1 ※	2021/5/10	3	No. 2 1 ※	2021/7/25	3
No. 2	2021/1/2	2	No. 1 2 ※	2021/5/18	3	No. 2 2 ※	2021/7/26	3
No. 3	2021/1/5	3	No. 1 3 ※	2021/5/19	3	No. 2 3 ※	2021/7/26	2
No. 4 ※	2021/1/6	2	No. 1 4 ※	2021/5/29	3	No. 2 4	2021/7/28	2
No. 5	2021/1/6	3	No. 1 5	2021/7/14	2	No. 2 5	2021/7/30	3
No. 6	2021/1/6	2	No. 1 6 ※	2021/7/15	3	No. 2 6 ※	2021/8/1	3
No. 7 ※	2021/1/7	3	No. 1 7 ※	2021/7/18	3	No. 2 7 ※	2021/8/11	3
No. 8 ※	2021/1/9	3	No. 1 8	2021/7/19	2	No. 2 8 ※	2021/8/15	3
No. 9 ※	2021/1/21	3	No. 1 9	2021/7/20	2	No. 2 9 ※	2021/8/26	3
No. 1 0	2021/1/27	2	No. 2 0 ※	2021/7/22	3	No. 3 0	2021/8/26	3
計97名								

# 過去5年間の市町村別救急活動状況（平成29年～令和3年）

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
米子市	出場件数 6,713	7,332	7,351	6,749	7,008
	搬送人員 6,277	6,837	6,798	6,292	6,529
境港市	出場件数 1,501	1,572	1,548	1,342	1,476
	搬送人員 1,428	1,493	1,438	1,284	1,391
日吉津村	出場件数 178	173	165	152	152
	搬送人員 173	165	158	143	147
大山町	出場件数 842	885	872	802	822
	搬送人員 790	834	812	749	764
南部町	出場件数 394	446	428	388	450
	搬送人員 379	432	406	368	414
伯耆町	出場件数 548	504	532	419	500
	搬送人員 520	478	503	401	463
日南町	出場件数 336	324	321	317	325
	搬送人員 317	309	304	305	307
日野町	出場件数 192	209	191	171	160
	搬送人員 176	190	180	164	158
江府町	出場件数 245	238	202	191	218
	搬送人員 234	232	196	187	206
圏外	出場件数 12	19	14	13	13
	搬送人員 11	18	11	12	13
合計	出場件数 10,961	11,702	11,624	10,544	11,124
	搬送人員 10,305	10,988	10,806	9,905	10,392





## 資料 4

令和 4 年 1 月 2 8 日  
総務消防常任委員会  
消防局 総務 課

### 大山消防署大規模改修事業の見直し（案）について

大山消防署大規模改修工事は、鳥取県西部広域行政管理組合公共施設等総合管理計画における個別施設計画（消防施設）に基づき、令和 4 年度事業として事務を進めているが、以下のとおり事業の計画を変更しようとするもの。

#### 1 計画変更となる主な要因

現在、大山消防署大規模改修工事に係る設計業務を委託し事務を進めているが、平成 1 1 年度の増築工事が完了した際の、建築基準関連規定に適合していることを証するための「検査済証」が確認できないため、鳥取県との協議に時間を要しているもの。

#### 2 鳥取県との協議状況

「検査済証」が確認できないことから、建築基準法第 1 2 条 5 項の報告を行うことにより、既存建物の法適合性を確認するもので、現在、2～3ヶ月程度の事務が遅延している。

また、建築主体工事実施設計を行ううえで、今後、既存建物部分の構造計算等が追加で必要となることから、併せて設計業務の契約期間（契約当初は R 4. 2 末まで）の延長等についても受託業者と協議をしているところ。

#### 3 今後の見通し

改修工事の工期は少なくとも 8ヶ月必要であり、併せて予定価格が 1 億 5 千万円を超える見込みであり、令和 4 年度に事業を完了するためには 7 月までに議決が必要な案件となる。

さらに、実施設計資料の完成が令和 5 年度にまたがることが想定され、仕様書作成の準備期間等を考慮すれば入札時期は早くても 7～8 月 となり、令和 4 年度内の事業完了は困難な状況となる。

#### 4 予算措置

消防力等整備 5 ヶ年計画における大山消防署大規模改修事業については、令和 4 年度と 5 年度の 2 ヶ年事業とし、令和 4 年度の当初予算については、債務負担行為を含めた予算措置とする。

別紙 1 第 7 次消防力等整備 5 ヶ年計画（案）

別紙 2 第 8 次消防力等整備 5 ヶ年計画（案）



第7次消防力等整備5ヶ年計画(案)

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

(単位:千円)

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
区分 指令施設 の更新	消防緊急無線システム				マイクro系無線装置更新 86,800	
	高性能消防指令システム	132,000				
	消防ポンプ自動車					
	水筒付消防ポンプ自動車			61,200	江府タンク車・19年(緊援)	
	救助工作車					
	化学消防ポンプ自動車					
	梯子車					
	高規格救急車 高要救命処置用資機材	33,000	33,400	33,700	33,700	33,700
	米子救急2号車・11年					
	米子救急3号車・10年(緊援)					
米子救急1号車・10年(防備)						
その他特殊車 (NBC特務救急車)	9,000					
米子資機材搬送車・21年						
指 揮 車			13,500	21年(緊援)	2000 大山指揮車・18年 9,200 江府指揮車・18年	
大規模特殊整備 (梯子車カーバンロール)					30,830 菅生梯子車	
消防庁舎等	9,130	消防庁舎及び設備の現状調査	14,817			
	20,000	消防局空調設備改修電気設備工事	3,850			
	12,000	消防局空調設備改修電気設備工事	13,167			
	5,000	環境消防署女性用仮眠室等整備工事	3,597			
	16,000	環境消防署空調設備改修電気設備工事	3,543			
	1,800	環境消防署空調設備改修工事	1,673			
	1,600	消防局高圧圧閉器(PAS)等改修工事	5,555			
		消防局高圧圧閉器(PAS)等改修工事	3,223			
合 計	107,530	214,825	142,100	158,957		

※消防庁舎大規模改修に係る費用(概算)

- ◆工事費
  - ・大山消防署設計委託費用、工事費用については組合施設管理課が改修工事内容に基づき算出したもの。
  - ・仮設庁舎費用、指令・無線設備等移設設置費用、委託工事監理費用は改修工事費用に加算し算出したもの。
- ◆設計委託費
  - ・南部出張所設計業務委託費用については、組合施設管理課が改修工事内容に基づき算出したもの。

別紙 2

鳥取県西部広域行政管理局 (単位:千円)

第8次消防力等整備5ヶ年計画(案)

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
消防施設の改修等	南部出張所庁舎改修工事 ※ 内訳 (建築主体工事) (建築設備工事)	129,800 (86,200) (43,600)	631,000 (441,700) (189,300)	82,000 12,500 31,000	74,500 11,400	69,000 240,600
	江府消防署庁舎改修工事 ※ 内訳 (建築主体工事) (建築設備工事)	126,200 —	14,080	—	—	—
	大山消防署改修工事(後期)	—	—	—	—	—
消防施設改修工事に伴う 指替・無線設備等移設関係	9,400	9,400	9,400	9,400	9,400	
消防ポンプ自動車	—	—	—	—	—	
水タンク消防ポンプ自動車	—	—	—	—	—	
救急工作車	236,400	—	122,300	—	—	
化学消防ポンプ自動車 梯子車	—	236,400	—	260,000	—	
高規格救急車 高規格救命処置用資機材	—	33,700	33,700	33,700	33,700	
その他特休車 (NEC特休搬送車)	—	—	—	—	—	
指 揮 車	9,200	—	—	—	—	
大規模防犯整備 (梯子車対バーベキュー)	—	—	—	—	—	
消防救急無線デジタル化	—	748,800	—	—	—	
高機能消防指令センター (高機能消防指令センター実施設計)	9,800	8,900	3,100	—	—	
高機能消防指令センター更新調達支援	—	656,200	—	—	—	
高機能消防指令センター更新種業監理	—	8,900	—	—	—	
高機能消防指令センター契約支援	—	3,100	—	—	—	
高規格救急車・17年	—	—	—	—	—	
消防救急無線デジタル無線更新	—	748,800	—	—	—	
高機能消防指令センター更新	—	656,200	—	—	—	
高機能消防指令センター更新種業監理	—	8,900	—	—	—	
高機能消防指令センター契約支援	—	3,100	—	—	—	
合計	—	2,105,180	395,900	450,200	447,600	

※消防庁舎大規模改修等に係る費用(概算)

◆工事費・設計業務委託費について

- ・令和5年度南部出張所庁舎改修工事費、江府消防署庁舎改修工事費及び令和6年度江府消防署庁舎移転・新築工事費は本組合施設管理課により算出したもの。
- ・令和7年度以降の庁舎改修工事費用については「公共施設等総合管理計画」に基づき、「建物総延床面積×公共建築物分類別更新単価(大規模改修25万円/㎡)」で算出したものに仮設庁舎費用(11,600千円)を含めたもの。
- ・令和6年度以降の庁舎設計業務費用については、「公共施設等総合管理計画」に基づき、「建物総延床面積×公共建築物分類別更新単価(大規模改修25万円/㎡)」の20%で算出したもの。